

## 7<sup>th</sup> International Conference on Integrated Disaster Risk Management Society (IDRiM) 2016 で研究成果を発表しました (2016/10/1-3)

テーマ：災害リスクマネジメント

場所：Hotel Abbasi (Isfahan, Iran)

2016年10月1日(土)から3日(月)の3日間、Isfahan (Iran) のHotel Abbasiにおいて、International Earthquake Engineering Association (IEEA)とIntegrated Disaster Risk Management (IDRiM)が主催、International Institute of Earthquake Engineering and Seismology (IIEES)が共催により、『The 7<sup>th</sup> International Conference on Integrated Disaster Risk Management (IDRiM 2016)』が開催されました。このカンファレンスには、世界中から約250名の研究者等が参加し、災害リスク軽減に関する研究発表が行われました。

当研究所からは、寅屋敷哲也助教(人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野)が登壇しました。講演題目等は次の通りです：

### 【研究成果発表】

Tetsuya Torayashiki, Hiroaki Maruya: Study on the Differences Between the Indirect Economic Impacts of the Predicted Volcanic Eruption and Earthquake in the Miyagi

※著者名は、筆頭著者と研究所構成員のみ記載。下線は研究所構成員。



カンファレンスのオープニングの様子



発表の様子 (寅屋敷助教)



発表会場の様子



カンファレンスのクロージングの様子

文責：寅屋敷 哲也 (人間・社会対応研究部門)